

第195回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2006年 6月16日(金) 13時～17時20分

会場: **日立製作所本社・秋葉原ダイビル18階大会議室** ←会場にご注意

東京都千代田区外神田一丁目18番13号(秋葉原ダイビル),

電話: 03-3258-1111(大代表),

交通: JR総武線, 山手線, 京浜東北線「秋葉原」駅下車(電気街口)徒歩約1分,
地下鉄銀座線「末広町」駅下車(1番出口)徒歩約5分

講演主題: HPLCを用いた専用システム

開催趣旨: HPLCの発展はめざましく、様々の産業の計測分野に応用されています。近年、所定の目的に合ったユニットを組み合わせて自動化した専用システムも数多く開発されて来ています。各々の専用システム、シーズの中でHPLCの長所がどのように活用されているのか現状を紹介すると同時に、専用システムの今後を展望したいと思います。

講演

1. 講演主題概説 (13:00～13:05)

((株)日立ハイテクノロジーズ) 谷川 建一

2. カラムスイッチング法を用いたカテコールアミン分析計HLC-725CA II (13:05～13:35)

(東ソー)(株) 新藤 義之

3. グリコヘモグロビンの分析 (13:35～14:05)

(病態解析研究所) 岡橋 美貴子

4. 高分離アミノ酸分析計の紹介 (14:05～14:35)

((株)日立ハイテクノロジーズ) 源 法雅

5. 糖分析の現状と専用システムのあり方 (14:35～15:05)

((株)島津製作所) 三上 博久

6. キャピラリー分取から大量分取まで多様なニーズに応える分取精製システムの紹介 (15:20～15:50)

(横河アナリティカルシステムズ(株)) 澤田 浩和

7. 食品中残留農薬のSFE抽出前処理システム (15:50～16:20)

(日本分光(株)) 岡村 和代

8. 食品中の農薬分析におけるGPCクリーンアップシステム (16:20～16:50)

(ジーエルサイエンス(株)) 今中 努志

9. 総括：HPLC専用システムへの期待と展望（16:50～17:20）

（東京理科大学薬学部）中村 洋

参 加 費（含講演資料集代）

LC研究懇談会会員：1,000円、会員外：3,000円、学生：500円（当日受付にてお支払い下さい）。

カタログ展示

1小間：5,000円（場所スペースは運営委員に一任させていただきます）

懇 親 会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します（30Fの「何の木」を予定）。会費：2,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書（[ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい）にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい（定員をオーバーした場合のみご連絡します。）

申 込 先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
（社）日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話：03-3490-3351、FAX：03-3490-3572]